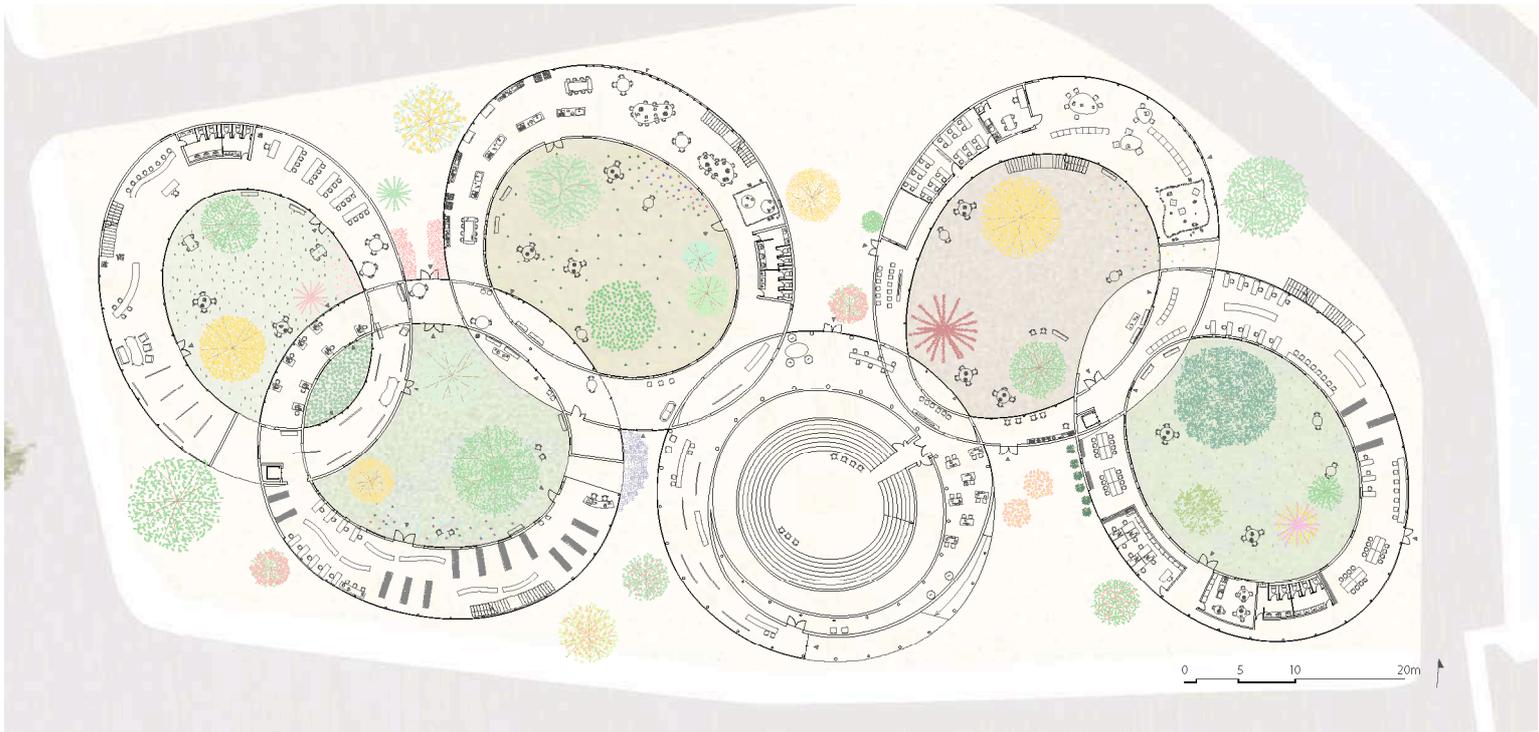


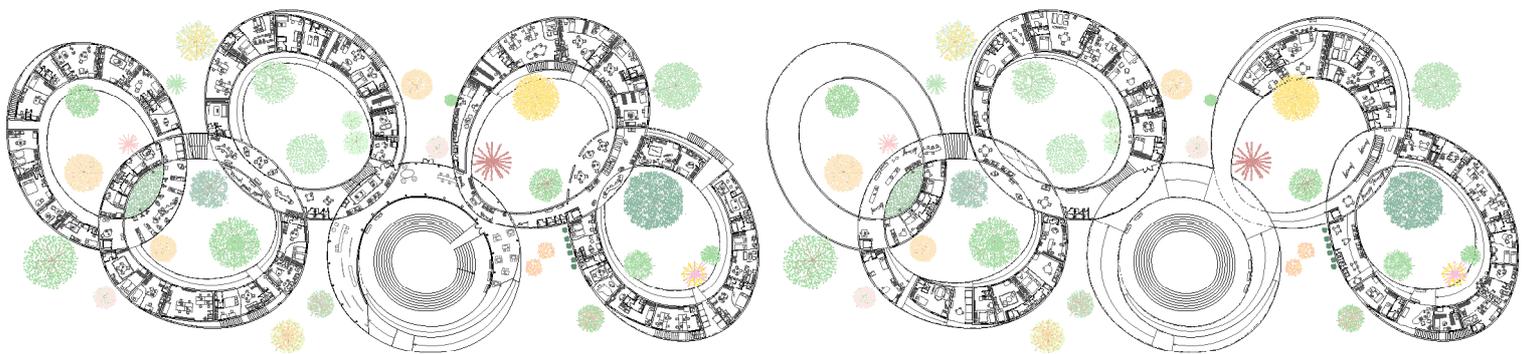
—Case1 人々のあつまる風景を広げる集合住宅—

Site：群馬県邑楽郡大泉町西小泉4丁目

大泉町は、面積 17.93 km²の県内最小の町であるが、昼間人口が高く、県下町村の中で第1位の人口規模を有する町である。首都圏開発地域の指定を受けて以来工業都市として発達してきた背景を持ち、不足していた労働力として南米外国人を積極的に誘致してきた為、現在では外国人比率が16%を占めており、この数字は全国で最も高い。しかし、日本人と外国人の両者の関係は友好的ではなく良いコミュニケーションの関係は生まれていない。そこで、両者の関係を生み出すコミュニティ施設と集合住宅の提案を行う。



1F 平面図



2F 平面図

3F 平面図



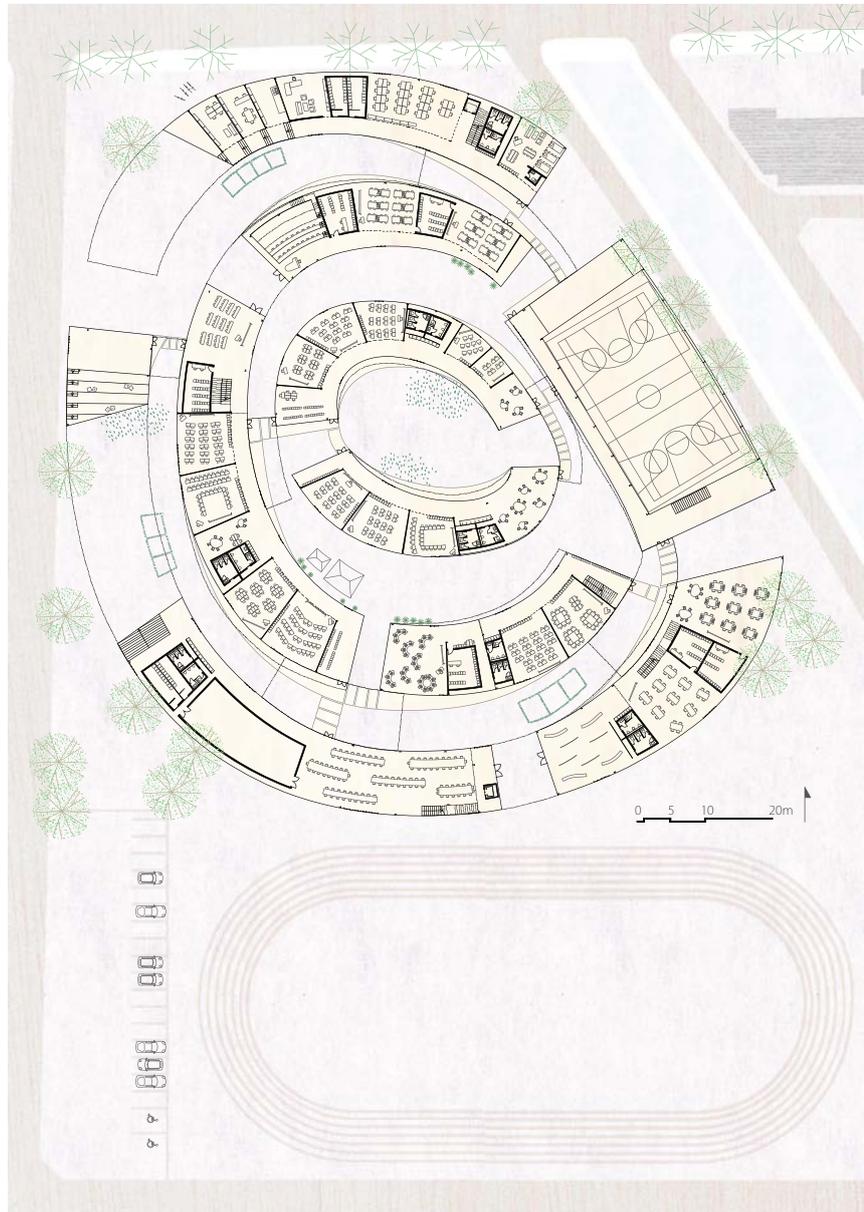
断面図





Site：群馬県邑前橋市古市町一丁目29

古市町は前橋市の適正規模を大きく上回っている前橋市立東小学校の通学区域内である。東小学校は生徒数872人、28学級の大規模小学校であり現在の校舎のみでは適正な教育が困難な状況にある。その東小学校の適正規模化の為に新設分設学校として新たに小学校を提案する。住宅街に囲われた敷地はそこに生活しているはずの人々の姿が垣間みれない。児童の生活風景と人々の生活風景が周囲に広がるような小学校の在り方を提示する。



1 F 平面図



1 F 平面図



1 F 平面図



1 F 平面図

